

イギリス文学・文化論ゼミ



◆担当教員：加藤 千博

- ・研究分野：イギリスユートピア文学、英語教育
- ・担当科目：「イギリス文化論」「イギリス文学 B」「European Culture in English」「海外文化実習」
- ・研究室：総研棟 210 ・HP：<http://katozemi.yokohama/>

◆ゼミ開設日：月曜 3 限（2 年生）；月曜 4 限（3 年生）；月曜 2 限（4 年生） ◆定員：各年度 8 名

◆ゼミ説明会：11 月 29 日（月）12：10～12：40（Zoom にて） ◆公開ゼミ：随時

◆ゼミの概要：本演習で扱うテーマは、イギリス文学、英国文化、カルチュラル・スタディーズ、ポストコロニアル理論、英語教育など、イギリスに関わることであればおおよそ何でも設定が可能である。

初年度は、イギリス文学のなかでユートピア文学といわれるジャンルに属する作品・作家を研究する。具体的にはトマス・モア『ユートピア』、ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』、ウィリアム・モリス『ユートピアだより』、オルダス・ハクスリー『すばらしい新世界』、カズオ・イシグロ『私を離さないで』等を扱う。小説やファンタジー文学も参照にしながら、文学・文化研究の方法を学んでいく。

授業では、エコロジーを切り口とした批評本 *Ecological Utopias: Envisioning the Sustainable Society* (Marius de Geus, 1999 年) をテキストとして輪読し、文学テキストから環境問題を考察していく。同時に、ポストコロニアル理論を中心としたカルチュラル・スタディーズ（言語、ジェンダー、移民、多文化主義、等）の観点から英国文化を考察し、旧植民地国との影響関係を学んでいく。

授業の進め方は、テキストを予習し、その内容を要約、場合によっては全て和訳しながら内容を確認し、ディスカッションを交えて理解を深める。授業と並行して、読書発表、英語学習の情報交換、映画鑑賞も行う。他のゼミとの合同発表会も開催する。学期末には各自の関心に基づいて研究発表を行う。

次年度以降は、ゼミ生の関心に沿ってテーマを決定するが、文化を中心に扱う予定。3 年次はイギリスの大学で 2 週間のサマーコースを受講し、その後 1 週間のフィールドワークを行う。この海外研修の事前準備をゼミと「海外文化実習」の授業内で実施する（卒論のテーマ、年間スケジュール等、HP を参照）。

◆メッセージ：文学・文化研究に必要なことは、多くの本に触れ積極的に異文化と関わること、そして語学力。本演習では英語力向上のためのトレーニングも行います。受講者は「国際文化クラスター」科目を選択し、「イギリス文化論」「イギリス文学 B」「European Culture in English」「海外文化実習」「APE」「初習外国語」の授業を必ず履修して下さい。国際プログラムへの積極的な参加もお勧めします。

